

| | |
|-------------|---|
| Title | 表紙・目次ほか |
| Author(s) | |
| Citation | 史林 = THE SHIRIN or the JOURNAL OF HISTORY (1975), 58(6) |
| Issue Date | 1975-11-01 |
| URL | http://hdl.handle.net/2433/238260 |
| Right | |
| Type | Others |
| Textversion | publisher |

一九七五年十二月二十五日
発行



第58巻 第6号

史学・地理学・考古学

論 説

- 没官領・謀叛人所帶跡地頭の成立……………大 山 喬 平 (1)
——国家恩賞授与権との関連をめぐって——
- 経済思想から見た福沢諭吉と康有為……………彭 沢 周 (35)
- インノケンティウス三世と第四回十字軍……………八 塚 春 児 (61)
——十字軍と教皇権についての考察——
- 第一次国共合作時期の広東省農民運動……………北 村 稔 (101)

ノ ー ト

- 唐末藩鎮の軍構成に関する一考察……………大 沢 正 昭 (140)
——地域差を手がかりとして——

書 評

- 古賀秀男著『チャーティスト運動の研究』……………武 居 良 明 (157)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

まり、十九世紀なかばにいたるまでの社会運動の担い手となった有力な部分は、小生産者ならびに、伝統的小経営より脱落して工場労働者となり小経営への復帰を希求する階層、であったが、四十年代も終りに近づくや工場制度以外の作業形態を知らないといった労働者が多数を占めるにいたった。かれらにとって社会運動とは狭義の労働運動にはかならず、雇主の背後にある政治制度そのものを否定しユートピアを構想するがごときは思いもよらなかったものである。

一八五八年にイギリスを旅したH・テューヌ(H. Taine)は「イギリスの労働組合は」賃あげ以外の目的をもっていない。……それらはユートピアを頭に描いてはいないし、また、社会を改革し、高利貸を打倒し、万人に平等な資金を、とか、すべての個人を国政に参加させよ、といった伝統的原理を夢みてもない」との鋭い指摘をおこなっているが、これは、後期チャーティズムの低調さを裏づけると同時に、それがことばの厳密な意味でのチャーティズムとは異質の運動である、ということをも示唆しているとはいえないであろうか。したがって評者は、チャーティスト運動の「運動思想史的到達点」としては、著者が詳細に展開したオコナーの小農場経営論をこそあげるべきではなからうか、と考えている。それも「低賃金と失業の不安におびえる労働者および労働組合の自衛運動」、換言すれば「大衆的・現実的基盤」との関連のもとでの小農場経営論ではなく、「非現実的」なユートウピア論としてのそれである。

次に、マルクス・エンゲルスと後期チャーティズムとのかわりあり、とりわけ兩人による後期チャーティズム評価の問題であ

るが、第六章における著者のG・ハーニー(G. J. Harney)書簡にかんする興味深い研究によって見る限り、当時のイギリス政治をめぐるエンゲルスの見解は一貫して楽観的に過ぎるようであり、そうした楽観論が因となり果となって後期チャーティズムをも過大評価に導く結果となっていないであろうか。

以上、古賀氏の雄辯を精読しつつ評者として見解を異にする点若干につき、断片的ながらコメントしてきた。そうした相違点はある、本書はチャーティスト運動史研究上逸すべからざる業績であり、今後とも同様の研究者にたいし裨益するところ大であると信じて疑いないところである。(A5判・四〇二二三頁 一九七五年三月、ミネルヴァ書房 四、二〇〇円)

(信州大学教授・)

| | |
|---------------|-----------------|
| 一九七五年一月三日印刷 | 定価六〇〇円 |
| 一九七五年一月一日発行 | |
| 史 林 (第五八巻第六号) | |
| 発行人 | 京都市在京区吉田本町 |
| 史 学 研 究 会 | 京都大学文学部 |
| 理事長 | 今 津 晃 |
| 印刷所 | 京都市下京区七条御所ノ内町五〇 |
| | 中村印刷株式会社 |

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LVIII, No. 6

Nov. 1975

CONTENTS

Articles:

- Establishment of *Jitō* 地頭 on the Confiscated
Estates of Traitors*K. Ōyama* (1)
- Yukichi Fukuzawa* 福沢諭吉, *K'ang Yu wei* 康有為
and their Economic Thought*T. P'eng* (35)
- Innocent III and the Fourth Crusade*S. Yatsuzuka* (61)
- The Peasant Movement in *Kwangtung* 廣東 during the
First Nationalist-Communist Cooperation*M. Kitamura* (101)

Note:

- An Observation on the Constitution of Army of *Fan chên* 藩鎮
in the Late *T'ang* Period 唐*M. Ōsawa* (140)

Book Review:

- H. Koga, *Study of the Chartist Movement**Y. Takei* (157)

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan